＜第Ⅵブロック＞　第２回　ブロック別支部長会　報告

開催期日：令和５年１０月５日（木）　　会場：ルネ小平

《出席役員・支部長名》

小平市　井口　修　　東久留米市　樋口由紀子　　三鷹市　蔵野 貴通
小平市　内藤　章　　清瀬市　水野 恵美子　　武蔵村山市　井口 洋
西東京市　佐々木　敏幸　　小平市　上松　久美子

《欠席支部》

武蔵野市　越前　信　　武蔵野市　齋藤　晃　　東村山　金原　崇
東大和市　江原 光紀

・自己紹介

・ご挨拶　一水教育研究所　ゆりかもめ塾運営委員長・平成３０年度東京都一水会会長
佐藤伸彦　様
日々の交流を大事に　うまくいかないことも話せる機会に
研修について
教員に力をつけたいが機会がないなど　ゆりかもめ塾の活用をしてほしい
主任選考　研修では、　なっていくにはどうしたらよいか、どのような仕事をしたらよいか、これからどのような仕事をしていくのかをミドルリーダーとしてやっていくのか、仕事をして初めて論文を書くことができる。ことなどを話していく
選考だけのためではなく、活気、熱気をもって仕事に取り組んでもらえたら
受験回数別のグループで研修を行った例もある

・本部より情報提供
研修状況について　AB 幹部教員の発掘

・各支部より
対面での支部ごとの総会などは行えていない。
校長、副校長合同の研修、懇親会などを行えている地区もある
主任教諭せんこうの勉強会を支部で２回実施（武蔵村山）（校長会　一水　学大主催）

・その他情報交換　グループ懇談　　児童　保護者　教職員に関して　等
＊不登校
増加傾向にある。理由が不明確なものが増加
対応の早さが功を奏していることもある。副校長がすぐに動いているため連携が取れている。
保健室、校長室とは別の場所（部屋）を設置して対応しているところもある。居場所としてはよい取り組みである。担当する教員のやりくりが課題である。
タブレットの活用も進んでいる。
＊保護者対応
地域により違いがあり、難しさが増している。
＊若手教員の育成
育成をするには、管理職ではない育成に関わる教員を育てていくことが重要である。
人材育成として、できる若手教員（主任に限らず）に仕事を振り育てている。
辞めてしまう初任者もおり、教員間のコミュニケーションが難しくなってきている。

《本部への要望・提言等》

〇印の担当役員の先生が報告書の作成をお願いします。【記載者：第　ブロック担当　　】

※　この様式の電子データが必要な方は、下記のアドレスにメールをいただければ添付して返信します。

akira-e01-tanaka@city.toshima.ed.jp（豊島区立高南小学校　校長　田中　明）